

令和2年度 長崎県優秀工事知事表彰 受賞工事

施工業者五十音順・敬称略

出来ばえ

主要地方道蔵原豆酸美津島線 道路改良工事(補強土壁工1 工区)	大石建設㈱対馬支店 〔支店長＝主藤庄八郎〕 〔監理技術者＝原拓也〕	【工事概要】 工事長L=0(75.0)m 幅員W=5.5(7.0)m 基礎工L=61.1m 補強土壁工A=473.6㎡	【表彰理由】道路の補強土壁工(最大高さ14m)の施工において、吸水変色型養生マット、スポットヒーター等を用いた基礎フーチングの養生や盛土の確実な締め固めのためT S転圧管理による品質管理を行うと共に、パネル1段毎の鉛直度管理により、出来形の精度が高く出来ばえの良い構造物を完成させた。
長崎南地区大型魚礁整備工事 (崎戸芋島南工区)	㈱西海建設西海営業所 〔所長＝尾崎俊一郎〕 〔監理技術者＝青嶋慎太郎〕	【工事概要】 魚礁工2,504空㎡ 2m角型魚礁313個	【表彰理由】60mの大水深での魚礁設置工事において、ナローマルチビームと遠隔操作型無人潜水機を用いた事前海底調査により、適切な沈設位置への変更提案を行うと共に、正確な漁礁の構築のため、水中位置観測装置や大型起重機船を用いた4個吊りの沈設を行った。出来形においてもナローマルチビームやサイド・ダウンスキャンにより確認を行うなど据付精度の高い出来ばえのよい漁礁を完成させた。
雲仙グリーンロード2期地区橋 梁耐震補強工事(その4)	㈱吉川組 〔代表取締役＝吉川和章〕 〔監理技術者＝北野真司〕	【工事概要】 橋脚補強工N=2基	【表彰理由】橋脚のRC巻立て工事において、薄い巻立て厚を考慮し、透気試験を用いた最適な養生方法の選定、ガラス繊維ネットの設置、透水性防水材の塗布、レーザー距離計とタブレットを用いたコンクリート打設高の管理などの取り組みにより、コンクリート表面の仕上がりも良好で、クラックやあばたの無い出来ばえの良い構造物を完成させた。
一般県道諫早外環状線道路改 良工事(舗装工4)	吉川建設㈱ 〔代表取締役＝吉川優子〕 〔監理技術者＝寺下秀臣〕	【工事概要】 工事長L=706(706)m 幅員W=7.0(12.0)m 排水性舗装(土工部)A=2790㎡ 排水性舗装(橋面部)A=4290㎡ ハイブリッド舗装(土工部) A=1550㎡ 路面標示工N=1式 道路付属施設工N=1式	【表彰理由】自動車専用道路の舗装において、走行の安全性、快適性を高めるため、アスファルトフィニッシャー2台によるホットジョイントでの施工、自社製作によるアタッチメントの装着、超音波センサーによる高さ管理、転圧機2台を用いた轍の早期修正などを実施し、平坦性の向上を図り出来ばえの良い構造物を完成させた。

創意工夫

芦辺漁港機能保全工事(1工区)	㈱杏松組 〔代表取締役＝末永勝也〕 〔監理技術者＝鬼塚嘉子〕	【工事概要】 -2.0m物揚場・臨港道路29.8m 撤去工2スパン 上部工29.8m 仮設工2スパン 防食工2スパン	【表彰理由】漁港岸壁の既設床版下の暗所にコンクリート増し打ち補強する特殊な工事において、水中作業となることから軽量で組立容易で透過性を持つ「カタパネル」を使用すると共に、足場や架台の固定には、従来の番線ではなく取り外し容易な自作の結束器具を使用することで潜水士作業の効率化と安全性の向上を図り、工事を円滑に完成させた。
一般国道383号交通安全施設 等整備工事(中野大久保地区 ・護岸工)	大坪建設㈱ 〔代表取締役＝大坪弘成〕 〔監理技術者＝小西裕輔〕	【工事概要】 工事長L=0(114)m 幅員W=6.0(9.75)m 護岸工(場所打ち式)L=3.8m 護岸工(方塊式)L=94.3m 消波ブロックN=517個 地盤改良工N=105本	【表彰理由】浅水域の道路護岸工事において、汐待や隣接工事との区域重複による作業の長期化を解消するため、着床できる作業船の使用や海上からの地盤改良施工のほか、現場打擁壁を製作据付とすることで隣接工事への影響を最小限に抑え、現道上での施工期間を短縮し工事を完成させた。
主要地方道神ノ浦港長浦線道 路改良工事(神浦向2工区)	㈱上滝 〔代表取締役＝上滝満〕 〔監理技術者＝清川隆弘〕	【工事概要】 工事長L=0(82)m 幅員W=5.5(9.25)m 地盤改良工N=273本 基礎工L=83m 本体工L=79m	【表彰理由】避難港として利用されている道路の護岸拡幅において、T S自動追尾型システムやGNSSシステムを用いた地盤改良マシン2台により迅速な位置出し・施工を行うとともに、水中中型枠組立を陸上作業での大組型枠とし海上から据え付けることで工期の短縮を図り、当初計画の7月末までに工事を完成させた。
石木ダム付替県道工事(13)	㈱誠伸建設 〔代表取締役＝崎田幸裕〕 〔監理技術者＝舩谷祐一〕	【工事概要】 施工長L=0(135)m 幅員W=5.5(9.25)m 土工V=14,610㎡	【表彰理由】大量の掘削土砂の搬出する工事において、隣接工区との調整により、別途工事用道路を確保利用することで、工事の中断を避け施工日数の短縮や工事車両の通過に伴う安全性の向上を図った。また、岩掘削においては超低騒音型大型ブレーカーを利用することで周辺住民への配慮を行い円滑に工事を完成した。
一般国道324号道路改良工事 (3工区)	竹下建設工業㈱ 〔代表取締役＝松川正一〕 〔監理技術者＝宮崎正吾〕	【工事概要】 工事長L=110.0m 幅員W=6.0(7.5)m 道路土工V=50㎡ 軽量盛土工V=237㎡ 防護柵工L=35m 排水構造物工L=37m	【表彰理由】交通量が多く見通しが悪い幹線道路の道路工事で、終日片側交通規制の期間の短縮のため、鉄筋挿入工は「CTB工法」、盛土支柱工は「車載型岩盤掘削機」を用いて施工することで、無足場施工を実現し、交通規制期間を30日間短縮し、通行車両への影響を最小限にとどめ、円滑にしかも安全に工事を完了させた。
長崎地区水産流通基盤整備工 事(道路(琴海線)改良(1工区))	㈱寺尾工業 〔代表取締役＝寺尾親吾〕 〔監理技術者＝寺尾親吾〕	【工事概要】 土工V=1,640㎡、法面工A=590㎡ 擁壁工L=55m、山留擁壁工L=46m 排水工173m、防護柵工74m 管路工L=134m、撤去工1式 仮設工1式	【表彰理由】親杭パネル施工時のクレーンヤードとしての仮設盛土を、以前当箇所を設置されていた仮設構台へ計画を見直すことで、使用クレーンの小型化や既存の支柱孔利用など施工の効率化を図り、大幅なコスト削減と工期を約2ヶ月短縮した。

創意工夫

主要地方道富江岐宿線道路災害防除工事(2工区-2)

榊萩原組
〔代表取締役＝西極忠和〕
(主任技術者＝北川一人)

【工事概要】
工事長L=34m
現場吹付法砕工A=788㎡
排水構造物工L=88m

【表彰理由】道路法面の補強工事において、路線バスの安全かつ円滑な走行をより確実なものとするため、バスの走行軌跡を確認し、仮設防護柵の設置位置を変更するとともに、施工機械の小型化、仮設防護柵への土圧軽減、土砂搬出方法の見直しなど、一般車両の通行優先に尽力するとともに、施工の安全性向上を図り、工期内の完成を実現させた。

田結港海岸結の浜海岸②外災害復旧工事

濱田建設工業㈱
〔代表取締役＝濱田賢吾〕
(監理技術者＝濱田博紀)

【工事概要】
養浜工A=37,000㎡(V=18,100㎡)
養浜砂投入工V=4,220㎡
着色型押しコンクリート工A=149㎡
コンクリート舗装工A=60㎡
張ブロック復旧工N=9個、護岸工L=5.1m
防護柵工L=10m、側溝清掃工L=418.4m

【表彰理由】養浜砂の整地にICTブルドーザ(マシンコントロール・フルオート)を使用することで、作業の効率化と施工精度の向上が図られ工期短縮を達成し、海開きを無事に迎えることができた。また、施工期間中の施設利用を可能とし、輻輳する重機の事故や施設利用者とのトラブルもなく、無事故で完成することができた。

地域貢献

青方港港整備交付金工事(道路2工区)

榊坂本組
〔代表取締役＝坂本幸二〕
(監理技術者＝近藤良輝)

【工事概要】
道路N=1.0式
護岸工L=82m

【表彰理由】公共工事に対する地元の理解を得るため、工事便りの発行、完成イメージ写真や進捗状況の掲示により周知を図るとともに、夜間工事実施による施工期間の短縮で周辺住民への影響低減を図った。また、青方港が「釣り文化振興モデル港」の指定を目指していることから沖防波堤や岸壁を活用した釣り大会の企画に参加し、大会の成功に尽力するなど地域の活性化にも貢献した。

桃山田地区区画整理工事(桃山1工区)

柴崎建設㈱
〔代表取締役＝柴崎伊喜藏〕
(監理技術者＝岩永龍治)

【工事概要】
整地工A=2.60ha
道路工3本L=452.7m
排水路工2本L=249.7m
沈砂池工N=1箇所

【表彰理由】当地区初めてのほ場整備であったため、営農者へ完成後のイメージを持ってもらう取り組みとして、1/200スケールの完成予想模型を製作し現地説明のツールとして使用したほか、完成イメージを現地にてVR体験してもらうなど従来の図面や現地説明による説明不足による手戻り工事の解消を図り、円滑に工事を完成させた。

時津川河川改修工事(山徳橋下部工)

榊田浦組
〔代表取締役＝岩永一洋〕
(監理技術者＝石田元輝)

【工事概要】
工事延長L=63.1m
護岸工A=204㎡
橋台工N=2基

【表彰理由】住宅密集地で交通量の多い現道環境の中、施工期間中の臨機の対応に備えるためスマートフォン対応のWEBカメラを設置し、交通状況や河川水位状況を監視するとともに、仮設盛土や土留工などにおいて施工方法の見直しを行い、車両通行止めを回避した。その際周辺住民への広報や現場掲示により、円滑な工事進捗を図り、工期短縮やコスト縮減にも寄与した。

口ノ津港改修工事(8工区)

宅島建設㈱
〔代表取締役＝宅島寿孝〕
(監理技術者＝江島清)

【工事概要】
浮桟橋(1)1式
碇けい工N=1式
(係留杭工1式、浮桟橋工1式、連絡橋工1式)
橋台工N=1式

【表彰理由】県や市の施工業者が多数稼働する工事において、地域住民の理解や協力を得るため、工事新聞の配布、地域住民との清掃活動、漁業活動に対する奉仕活動などの取り組みにより住民とのコミュニケーションを深め、円滑な工事に繋げるほか、担い手確保のため高校を訪問し、工事説明や建設業の魅力を伝える講演を行うなど、公共工事への理解や土木に対するイメージアップに貢献した。

正久寺地区区画整理工事(2-2工区)

榊寺山建設
〔代表取締役＝寺山和雪〕
(監理技術者＝岸下敏浩)

【工事概要】
整地工A=2.5ha
道路工L=683m
排水路工L=461.8m
沈砂池工N=1箇所

【表彰理由】傾斜地でのほ場整備において、営農者や地域住民に対して完成後のイメージや具体的な施工方法について理解を得るため、工事手順や作業内容を説明した写真を掲示板に掲げたほか、「YouTube」を活用した動画を工事進捗に併せ配信したことで、地域住民の理解が得られ円滑な工事の推進が図られたほか、動画配信によりほ場整備についての広報活動にも貢献した。

調川港港整備交付金工事(4工区)

増山建設㈱
〔代表取締役＝増山富博〕
(監理技術者＝増山史哉)

【工事概要】
浮桟橋1基
碇けい工1式

【表彰理由】大型浮桟橋の設置にあたり、現場に設置したデジタル警報付き風速計と気象予測により、海上作業日を事前に選定し、魚市関係者と調整を実施したほか、碇アンカーにより港内の航行を確保し、漁船の航行や水揚げ・給水を止めることなく確保するなど綿密な調整を行なった結果、魚市関係者の良好な関係が築かれ、円滑な施工を行うことが出来た。

高度技術

一般県道諫早外環状線道路改良工事(諫早IC分離橋上部工)

大島・増崎特定建設工事共同企業体
〔榊大島造船所長崎営業所(所長＝財津直也)、増崎建設㈱(代表取締役＝松島正昭)〕
(監理技術者＝元川貴文)

【工事概要】
工事長L=0(197)mW=3.5(6)m
ON橋橋梁上部工製作・架設(鋼5径間連続非合成箱桁橋)
橋長L=197m(鋼重365t)架設工1式(クレーンバント架設)
OFF橋 橋梁上部工製作・架設(鋼単純非合成箱桁橋)(單純充実合成床版桁橋)(鋼3径間連続非合成箱桁橋)
橋長L=189m(鋼重456t)架設工1式(クレーンバント架設)

【表彰理由】幹線道路や高速道路を跨ぐ上部工架設工事において、バント設備設置や地組した大ブロックの搬入に多軸式特殊台車を使用することや、県内で初めてとなるクレーン2台を同時使用した吊り決めによる架設計画を立案し、困難であったON・OFF各1日での架設を実現し、通行規制を最小限に抑えるとともに出来ばえの優れた構造物を構築させた。

佐々川河川改修工事(1工区)

榊協和土建
〔代表取締役＝石原洋〕
(監理技術者＝久保田亮二)

【工事概要】
工事長L=103m
河床掘削工V=2280㎡
魚道工N=1式
護床工A=780㎡

【表彰理由】岩盤部の河床切下げ工事において、県内初となるツインヘッダー工法の採用に加え、マシンガイダンス付バックホウを採用することで施工性の向上や騒音低減を図るとともに、精度が高く出来ばえの優れた構造物を構築させた。